

SOSEKI

2023
10
7
Sat.

2024
1
14
Sun.

漱石



鷗外

千駄木の

特別展

二人の交流と

作品を歩く

と

漱石

鷗外



【開館時間】10時～18時(最終入館は17時30分)

【観覧料】一般600円(20名以上の団体:480円)

・中学生以下無料、障害者手帳ご提示の方と介護者1名まで無料
・文京ふるさと歴史館入館券、パンフレット(押印入)、友の会会員証ご提示で2割引
・その他各種割引がございます。詳細は記念館HPをご覧ください。

【会場】文京区立森鷗外記念館

【休館日】10月24日(火)、11月28日(火)、12月26日(火)～1月3日(水)

監修: 山崎一穎(跡見学園女子大学名誉教授、森鷗外記念館(津和野)館長、森鷗外記念会顧問)
中島国彦(早稲田大学名誉教授、日本近代文学館理事、全国文学館協議会会長)
出品協力: 川島幸希、県立神奈川近代文学館、公益財団法人虚子記念文学館、
公益財団法人日本近代文学館、東京大学総合図書館、文京ふるさと歴史館

11月1日(水)は開館記念日

開館日を記念して、当日は展示会を観覧された方に、オリジナルポストカードをプレゼントします。

ギャラリートーク

10月18日、11月1日、1月10日

いずれも水曜日14時～(30分程度) 申込不要、当日の展示観覧券が必要です。

※上記に加え、会期中に展示解説をYouTubeチャンネルにて配信予定

本展示会の最新情報は、記念館HP等でご確認ください。

上: 漱石39歳(明治39年) 県立神奈川近代文学館蔵 下: 鷗外50歳(明治45年)
地図: 森林太郎立案『東京方眼図』(明治42年)

og
外

文京区立 森鷗外記念館
Mori Ogai Memorial Museum

〒113-0022
東京都文京区千駄木1-23-4
電話: 03-3824-5511
URL: <https://moriogai-kinenkan.jp>

其人は根津権現の裏門の坂を上つて、彼と反対に北へ向いて歩いて来たものと見えて、健三が行手を何気なく眺めた時、十間位先から既に彼の視線に入つたのである。(『道草』)

ある日の午後三四郎は例の如くぶら付いて、団子坂の上から、左へ折れて千駄木林町の広い通りへ出た。(『三四郎』)

千駄木の

鷗外

二人の交流と
作品を歩く

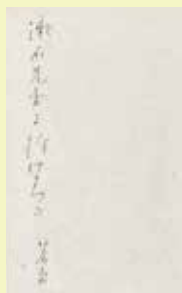
と
漱石

2023 10/7 Sat.
2024 1/14 Sun.



森鷗外(1862-1922)と夏目漱石(1867-1916)は、明治を代表する文豪です。同時代を生きた二人は、近代日本文学の双璧としてよく比較されてきました。例えば、鷗外は島根県津和野町出身で明治維新後に東京に上京しましたが、漱石は生まれも育ちも東京で生粋の江戸っ子です。また鷗外は22歳でドイツへ、漱石は33歳でイギリスに留学しました。さらには鷗外が陸軍軍医として「官」に生きたのに対し、漱石は「民」の立場に在ったなど、比べれば限りがありません。しかし、「千駄木」という場所を通してみると、二人の足跡の交わりが見えてきます。

鷗外と漱石が顔を合わせたのは数回ですが、本展では二人の接点を振り返り、千駄木をキーワードにその交流と作品を紹介します。自著を贈るやり取り、そして時期を異にして二人が住んだ「駒込千駄木町五十七番地の家」の歴史、次いで鷗外『青年』、漱石『吾輩は猫である』『三四郎』に代表される千駄木を舞台にした作品の登場人物たちの交錯を、書簡や原稿、献呈本などとあわせて展覧します。展覧会を見終えて記念館を出た後、千駄木の街が来た時と少し違って見えるかもしれません。千駄木に刻まれた鷗外と漱石の記憶をぜひご覧ください。



1 漱石筆正岡子規宛書簡 明治24年8月3日(部分) 学生時代の漱石が鷗外作品を評価している。漱石が鷗外文学に言及した唯一の現存資料。【個人蔵】/2 鷗外が漱石に贈った自著『涓滴』(明治43年)。「漱石先生に捧けまつる 著者」と献辞がある。【個人蔵】/3 千駄木が登場する作品、漱石『三四郎』(明治42年)、『道草』(大正4年)、鷗外『青年』(大正2年)。

展示関連講演会①

「千駄木の豊島与志雄——野田宇太郎と鷗外漱石とを(引き合わせ)た男」

【講師】 藤井淑慎氏(立教大学名誉教授)

【日時】 11月25日(土) 14時〜15時30分

【料金】 無料(参加票と本展観覧券(半券可)が必要)

【申込締切】 11月10日(金) 必着

展示関連講演会②

演題は記念館HPにてお知らせいたします。

【講師】 奥泉光氏(作家、近畿大学教授)

【日時】 12月16日(土) 14時〜15時30分

【料金】 無料(参加票と本展観覧券(半券可)が必要)

【申込締切】 11月24日(金) 必着

朗読会

「夏目漱石『吾輩は猫である』を読む」

【講師】 采澤 靖起氏(文学座)

【日時】 11月5日(日) 14時〜15時30分

【料金】 1200円

【申込締切】 10月23日(月) 必着

いずれも

【会場】 文京区立森鷗外記念館 2階講座室

【定員】 50名(事前申込制)

◎ 申込方法

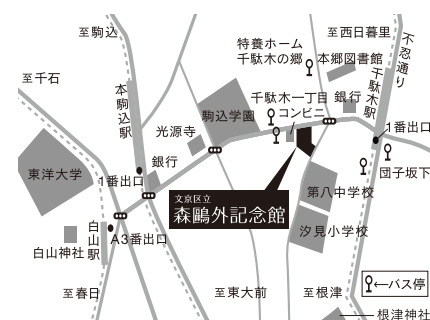
◆ 往復はがき 往信に「〇月〇日イベント」「氏名(ふりがな)・住所・電話番号を、返信用には、住所氏名を明記の上、〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4 文京区立森鷗外記念館」展示関連イベント」受付係までご応募ください。

◆ Eメール 件名に「〇月〇日イベント」、本文に氏名(ふりがな)・電話番号・Eメールを明記の上、下記までご応募ください。
bmk-event@morioagai-kinenkan.jp
※申し込みは一通につき1名様(お人様1通まで)、応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。

【実施期間】 10月7日(土)〜2024年1月14日(日)
期間中に新宿区立漱石山房記念館で開催中の展覧会と本展をご観覧の方に、もれなく缶バッジをさしあげます。

● 同時開催 鷗外&漱石ブックフェア
詳細は展覧会開催期間に記念館HPでご確認ください。

次回展示
コレクション展「長原孝太郎生誕160年・近所のアトリエ(仮称)」
2024年1月19日(金)〜3月31日(日) 予定



電車

- ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅1番出口徒歩5分
- ・東京メトロ南北線「本駒込」駅1番出口徒歩10分
- ・都営三田線「白山」駅A3番出口徒歩15分
- ・JR線・京成線「日暮里」駅西口徒歩15分

バス

- ・都営バス草63番系統「千駄木一丁目」下車徒歩1分
- ・都営バス上58番系統「団子坂下」下車徒歩5分
- ・Bーぐる千駄木・駒込ルート「19 特養ホーム千駄木の郷」下車徒歩5分 ※一般の駐車場がございませんので、公共交通機関をご利用ください。

文京区立森鷗外記念館

〒113-0022 東京都文京区千駄木1-23-4
電話：03-3824-5511
URL：https://morioagai-kinenkan.jp
モリキネカフェ
10時30分〜17時30分(ラストオーダー 17時)



純一の一度渡つた、小川に掛けた生木の橋を渡って、千駄木下の大通に出た。(『青年』)